

今年も東京レインボープライドに出展！

過去最高 27 万人の来場者に 労働組合活動をアピール

日本最大のセクシュアルマイノリティのイベント「東京レインボープライド」が東京・代々木公園で開催、連合がブースを出展し、全国ユニオンと全国労働金庫労働組合連合会（全労金）が協力して宣伝活動を行いながら、日本労働弁護団が相談対応に当たりました。

今年は4月19～21日からの3日間を予定していましたが、初日は強風のため中止。20日からの2日間での開催となりました。それでも「変わるまで、あきらめない。」をテーマに、過去最高の約27万人が参加、パレードは60梯団に分かれ、こちらも過去最高の1万5000人となりました。

東京レインボープライドでのブース出展の取り組みは2017年から。今年の相談件数は2日間で計23件の相談が寄せられました。例年通り日本労働弁護団から常時2人以上が待機していたため、労働に限らず幅広い法律相談に対応できました。

その他、「賃金が安い」「ハラスメントがある」など現在の仕事の不満について、シールを貼ってもらうアンケートには、多くの意見が寄せられました。また、今年も登場した連合のゆるキャラ「ユニオニオン」も好評で参加者が一緒に写真撮影をしていました。

以下で今回の特徴的な相談事例を紹介するとともに、過去5年間の相談件数を以下に紹介します。



表：過去6年間の相談件数の推移

	17年	18年	19年	22年	23年	24年
一般的な労働相談	10件	16件	16件	16件	19件	11件
セクシュアルマイノリティ関連	3件	22件	7件	12件	6件	6件
その他	5件	9件	3件	9件	5件	6件
分類不能	—	5件	2件	—	3件	—
計	18件	52件	28件	37件	33件	23件

※2017年の相談件数は17件で表中は延べ件数。

※2022年以降は過去の分類と合わせるため「一般的な労働相談」はそのまま、それ以前の「セクシュアルマイノリティ関連の法律相談」と「セクシュアルマイノリティ関連の労働相談」は「セクシュアルマイノリティ関連」に「一般的な法律相談」と「その他」は「その他」としてまとめました。